

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											アメリカ・トリパノソーマ症	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兔病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	ブルーリードッグからヒトへ野兔病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロナズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クラミア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。
											ウイルス感染	Transfusion, 2004, 44(s1), 16A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリポフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である。
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディブラウウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
											細菌感染	Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(10), 4759-4764	血小板製剤中に存在する最近を検出するため、23SrRNAまたはgroEL遺伝子を利用したreal-time RT-PCR法が開発された。
											細菌感染	日本輸血学会誌, 2004, 50(5), 726-729	敗血症性ショックを呈した7ヶ月男児の血液および血小板製剤からM.morganiiが検出され、輸血後感染が示唆された。
2004/12/22	40805	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有り	有り	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイピーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁桃標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイピー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSepriinによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD、BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD, vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうる事が示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03	血液及び血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染性は42%の低下にとどまった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/10/24	アイルランドでvCJDに感染したと見られる20代男性について確認検査が行われている。輸血歴・渡航歴はない。アイルランドでは1例目。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日~11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											リユーシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リユーシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリユーシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New England Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicinal Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス8例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウィンドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者におけるoccult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											B型肝炎	ABC Newsletter, 2004/10/22	FDA血液製剤諮問委員会は、Hbc抗体陽性者に対し、新たな検査方法を加え供血者のリエントリーを可能とするよう勧告した。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 583-572, 2004	血液透析を受けている患者418名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											アメリカ・トリパノソーマ症	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兔病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兔病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。
											クラミジア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミジア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。
											ウイルス感染	Transfusion, 2004, 44(s1), 16A, S47-0301	感染性不活化技術の一つりボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である。
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディプラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、増基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
											細菌感染	Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(10), 4759-4764	血小板製剤中に存在する最近を検出するため、23SrRNAまたはgroEL遺伝子を利用したreal-time RT-PCR法が開発された。
											細菌感染	日本輸血学会誌, 2004, 50(5), 726-729	敗血症性ショックを呈した7ヶ月男児の血液および血小板製剤からM.morganiiが検出され、輸血後感染が示唆された。
2004/12/21	40806	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ポリゼリン	ウシ骨抽出物	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/21	40807	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/21	40808	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ドナー仔牛血清	ドナー仔牛血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/22	40809	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)注射液	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/22	40810	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)注射液	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/22	40811	協和発酵工業株式会社	アテルブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシの血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/22	40812	協和発酵工業株式会社	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/27	40813	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健常人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40814	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健常人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/27	40815	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅲ因子	ヒト凝固性たん白質(フィブリノゲン加第Ⅲ因子)	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVIに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健常人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40816	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅲ因子	トロンピン	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVIに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健常人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40817	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅲ因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造工程	無し	有り	無し			
2004/12/27	40818	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅲ因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、米国又はニュージーランド	有効成分・添加物	無し	無し	無し			
2004/12/27	40819	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅲ因子	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVIに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健常人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/27	40820	日立化成工業株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有り	無し	無し	B型肝炎	第62回日本公衆衛生学会総会, P13-048	B型肝炎キャリアの保育士から、日常の保育行為、接触を介して園児へ感染した。
											ウイルス性上気道感染	日本小児科学会雑誌, 2004, 108(3), 390-394	急性呼吸器感染症と診断された患者835件の検体からウイルスを分離し、ウイルス分離陰性だった521検体から無作為に選んだ238検体のうち22検体からPCRにより、human metapneumovirusを検出した。
											ウイルス性上気道感染	感染症学雑誌, 2004, vol78(2), 129-137	広島県の小児の急性呼吸器感染症の患者377名のうち77名がhuman metapneumovirus(hMPV)陽性で、2つの遺伝子型に区別された。
											咽頭結膜炎	Infection Diseases Weekly Report Japan, 2004, 22	咽頭結膜炎の一定点あたりの報告数は0.56件であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。
											マイコプラズマ性肺炎	Infection Diseases Weekly Report Japan, 2004, 26,27,28,29	マイコプラズマ肺炎の一定点あたりの報告数は0.27件であり、過去8年間の同時期と比較してかなり多い。
											インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Clinical Investigation, 113(10), 1465-1472	ハムスターにスクレイパータンパクを1回摂取させ、啓示的に筋肉への蓄積を調べたところ、症状が発現する前の摂取後130日目に筋肉にプリオンタンパクが確認された。筋肉への広がりは運動神経を介していると思われる。
クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイパーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。											
2004/12/27	40821	全業工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラードウォーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/27	40822	全業工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの膵臓由来	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/27	40823	全業工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/28	40832	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	ニュージーランド、米国、オーストラリア	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞, 2004/11/01	動物衛生研究所は3月に北海道で見つかったBSE感染牛の末梢神経と副腎から異常プリオンを検出した。この感染牛の肉はすべて廃棄された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/28	40833	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ又はブタの肺	ウシ:ニュージーランド、ブタ:デンマーク	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞, 2004/11/01	動物衛生研究所は3月に北海道で見つかったBSE感染牛の末梢神経と副腎から異常プリオンを検出した。この感染牛の肉はすべて廃棄された。
2005/01/08	40824	株式会社科薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	オーストラリア、米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/06	40825	株式会社科薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	オーストラリア、米国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40826	鳥居薬品株式会社	アレルゲン治療エキス	アレルゲンエキス	Candida albicans		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40827	鳥居薬品株式会社	アレルゲン治療エキス	アレルゲンエキス	Penicillium luteum		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40828	鳥居薬品株式会社	アレルゲン治療エキス	アレルゲンエキス	Aspergillus fumigatus		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40829	鳥居薬品株式会社	アレルゲン治療エキス	アレルゲンエキス	Alternaria kikuchiana		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40830	鳥居薬品株式会社	アレルゲン治療エキス	アレルゲンエキス	Cladosporium cladosporioides		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/07	40831	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	ウイルス感染 クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7) Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルポウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。 vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文庫製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News, 2004/11/10	アイルランドで見つかった症例は1例目のvCJD症例と確定された。輸血歴・渡航歴はない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science express, 2004/11/11	BSE由来プリオンでのヒトへの1次及び2次感染は、プリオンソース及びレシピエントの遺伝型の如何により孤発性及び変異型に加え、新規の表現型をもたらす可能性がある。
2005/01/12	40834	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	テクネチウム大凝集人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
											重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(32); 738-739, 2004.08.20	ジョージア州でWNVに感染した患者2名は同じ透析機を用いており、同じ透析機を使用した患者はもう一人いることが分かったが、この患者は検査結果は疑わしかったがWNVと確定できなかった。
2005/01/14	40835	泉工医科工業株式会社	模型人工肺	ペパリン	ブタ小腸粘膜	米国	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
											口蹄疫	OIE Disease Information, 17(38), 2004/09/17	ブラジルで口蹄疫ウイルスC型が1件発生したが、牛(疑い例34例)、ブタ(疑い例1例)の中で、感染源を調査中。
2005/01/18	40836	清水製薬株式会社	イソフェンインスリン水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し	無し	無し			
			インスリン亜鉛水性懸濁注射液										
2005/01/18	40837	清水製薬株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム注射液	健康なブタの腸粘膜	ブラジル	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 34	ブタはヒト及びトリのインフルエンザウイルスに感染しうる。中国のブタがトリインフルエンザH5N1型に感染したとの報告があるが、広範囲に広がっているかどうかは不明である。
											E型肝炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 47	2002年から2003年にかけては増加がみられたが、2004年は2003年とほぼ同数である。
2005/01/18	40838	清水製薬株式会社	イソフェンインスリン水性懸濁注射液	インスリン	健康なブタの膵臓	オランダ、フランス	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 34	ブタはヒト及びトリのインフルエンザウイルスに感染しうる。中国のブタがトリインフルエンザH5N1型に感染したとの報告があるが、広範囲に広がっているかどうかは不明である。
			インスリン亜鉛水性懸濁注射液										
			インスリン亜鉛水性懸濁注射液										